

科目名 Course Name	医療用語 Medical Terminology			ナンバリング No.	D1-001	
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態 講義
担当者氏名	(Aクラス)古川 貴子 (Bクラス)小林 仁美					
連絡方法	C-Learning で対応。					
必修/選択	選択					
関連 DP	DP1、DP2、DP4					
授業の概要と到達目標	<p><b>【概要】</b> 医療機関の業務に必要な基本的な医療用語を学ぶ。また、医療現場で用いられる略語などについても理解できるようにする。そして臨床検査も理解できるようにする。</p> <p><b>【目標】</b></p> <p>① 医療用語での略語等が理解できるようにする。 ② 略語が書けるようにする。</p>					
授業の方法	テキスト及びグループワークなどで進めていき、解剖学的部位や略語、検査用語等についても学んでいく。					
学習成果	L01	医療用語の略語について意味が理解できるようにする。				
	L02	医療現場で使用する用語が理解できるようにする。				
	L03					
	L04					
課題に対するフィードバック	ショートテスト後は毎回答え合わせをする。					
教科書/参考図書	配布プリント、医療事務医科テキスト1~4・医療事務医科スタディブック・医療事務医科ハンドブック(ニチイ学館)					
履修上の留意点やルール等	●事前・事後の学習に費やすべき目安は各回180分とする。					
担当教員の実務経験	●実務経歴(医療事務職歴:約5年)現場で使用した医学用語を活かす。					

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	医療用語の基礎知識を理解している。授業に集中して取り組んでいる。	45			
レポート/作品					
発表					
小テスト	授業の進捗状況により随時確認。	30			
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。		25		
その他					
<b>合計</b>		75	25		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス・概要説明・評価方法に関する説明
	事前・事後学習	特になし
2	授業内容	カルテで多用される略語を理解する。
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
3	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(感染症及び寄生虫症)、小テスト①
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
4	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(新生物)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
5	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(血液および造血器の疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
6	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(神経系の疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
7	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(眼および付属器の疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
8	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(耳及び乳様突起疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
9	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(循環器系の疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
10	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(呼吸器系疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
11	授業内容	ICDコーディングで使われる用語を理解する。(消化器系疾患)
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
12	授業内容	病名で使われる用語を理解するパート①
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
13	授業内容	病名で使われる用語を理解するパート②
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
14	授業内容	略語や検査用語
	事前・事後学習	〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。
15	授業内容	授業の総復習、検定試験対策
	事前・事後学習	〈事前〉学習した内容や検定試験について分からない点を質問できるように準備する。 〈事後〉授業で学んだ内容を復習する。